

ライフポートとよはしに設置した ソーラーカーポートによる電力供給を開始します

本市は 2050 年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティとよはし」を目指しています。この取組みの一環として、「ライフポートとよはし」に PPA 事業（※1）によりソーラーカーポート型の太陽光発電設備を設置し、令和7年6月2日から電力供給を開始します。なお、本事業は公募型プロポーザルにより大和リース株式会社を実施事業者を選定し、国庫補助事業（※2）を活用し実施しました。

1 事業の目的

- （1）使用電力の再生可能エネルギーへの転換及びエネルギーの地産地消
- （2）温室効果ガスの排出抑制
- （3）駐車場へのカーポート機能による利便性向上

2 導入する設備と効果

- （1）太陽光パネル：352kW（550W の太陽光パネルを 640 枚設置）、
駐車場 142 台分のソーラーカーポートを設置
- （2）電気自家消費量：約 34 万 kWh／年（見込み） ※施設の需要電力の約 45%分
- （3）二酸化炭素排出削減量：約 130t-CO2／年（見込み）
- （4）自立運転機能を備えたパワーコンディショナーの設置により災害等に非常用電源として活用が可能

3 事業概要

<大和リース株式会社名古屋支社>

- ① ソーラーカーポート型の太陽光発電設備の設置
- ② 遠隔監視システムによる運用、保守および維持管理などを一貫して実施（供給開始から 20 年間）
- ③ 契約期間の満了後は設備を本市に無償譲渡

<豊橋市>

- ① 契約期間において施設の使用を許可するとともに、発電された電力を施設で使用し電気使用料を支払う

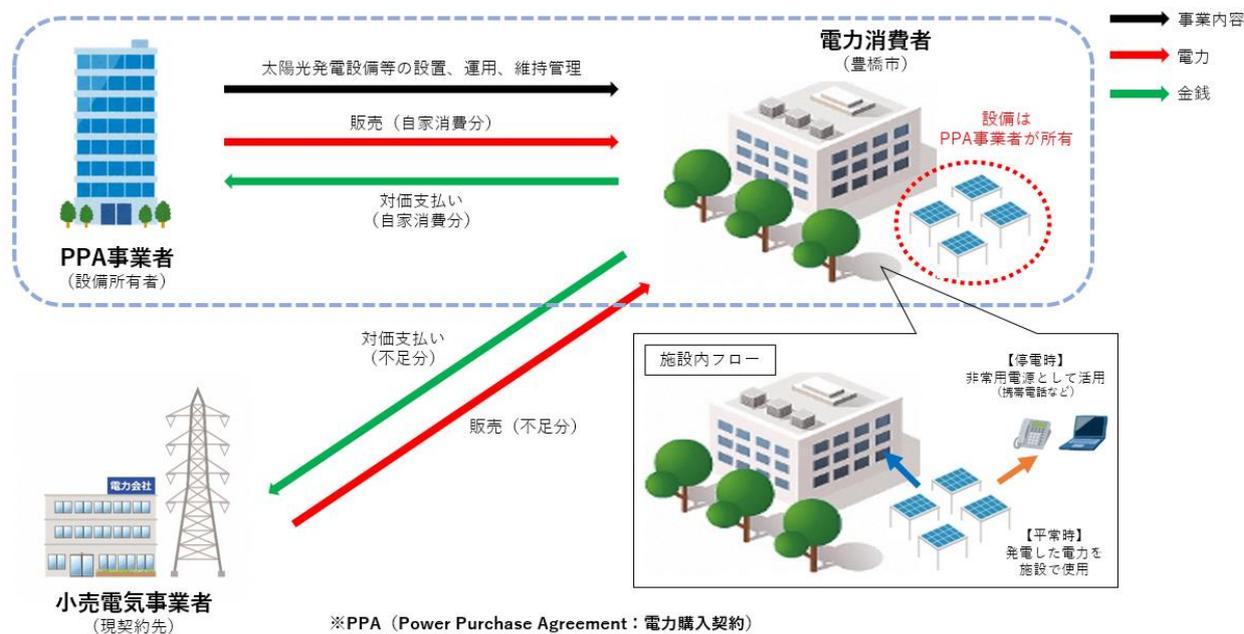
4 施設及び設備の写真（ライフポートとよはしに設置したソーラーカーポート）



5 用語の説明

※1：PPA（Power Purchase Agreement：電力購入契約）

設備設置事業者（PPA 事業者）が施設の屋根や隣接地に太陽光発電設備を設置し、施設側は発電した電気を購入する契約のこと。施設側は設備を所有しないため、初期費用の負担や設備の維持管理をすることなく、再生可能エネルギーの電気を使用することができる。（下図は PPA 事業全体のイメージ）



※PPA（Power Purchase Agreement：電力購入契約）

設備設置事業者（PPA事業者）が施設の未利用地（屋根や隣接地）に太陽光発電設備を設置し、施設側は設備で発電した電気を購入する契約のこと。施設側は設備を所有しないため、初期費用の負担や設備の維持管理をすることなく、再生可能エネルギーの電気を使用することができる。

※2：国庫補助事業

二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（民間企業等による再エネ主力化・レジリエンス強化促進事業）

6 これまでの PPA による太陽光発電設備の導入実績

供給開始年度	設置した公共施設	設置容量
令和4年度	校区市民館4施設、生涯学習センター8施設、保育園2施設、窓口センター1施設の計15施設	151kW
令和6年度	豊橋総合動植物公園、保健所・保健センターの計2施設	1,154kW
令和7年度	ライフポートとよはし	352kW

問合せ 環境部 環境政策課 主幹 大塚（電話 51-2409）

公共施設のゼロカーボンを。
進めていくに～！。



SDGs 未来都市
豊橋市



かん田きょう子さん